

南大谷地区住所整理事業ニュース

～南大谷地区の住所整理事業に関する情報をお届けします～

発行日： 2022年5月20日

発行： 町田市役所 都市づくり部
土地利用調整課

町田市では、住所をわかりやすくし、暮らしやすいまちづくりを進めるため、住所整理事業を行っています。

南大谷、東玉川学園三・四丁目につきましては、2024年度に住所を整理することを目標に新しい町の区域や名称について検討を進めており、市民懇談会等を通じて地域の皆さまの声をお聞きしながら議論を深めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

このお知らせは、事業予定区域内にお住まいの方と事業所へ配布させていただいております。

今号では第3回及び第4回市民懇談会の内容をお知らせします。

第3回 町田市町区域の新設に関する市民懇談会を開催しました。

市民懇談会の目的

南大谷、東玉川学園三・四丁目地区において新設する町の区域とその名称について検討し、最終的に報告書にまとめ、市長へ報告することが懇談会の目的となります。

第3回町田市町区域の新設に関する市民懇談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、書面による開催といたしました。

◆開催日時： 2022年3月1日(火)

◆開催： 書面開催

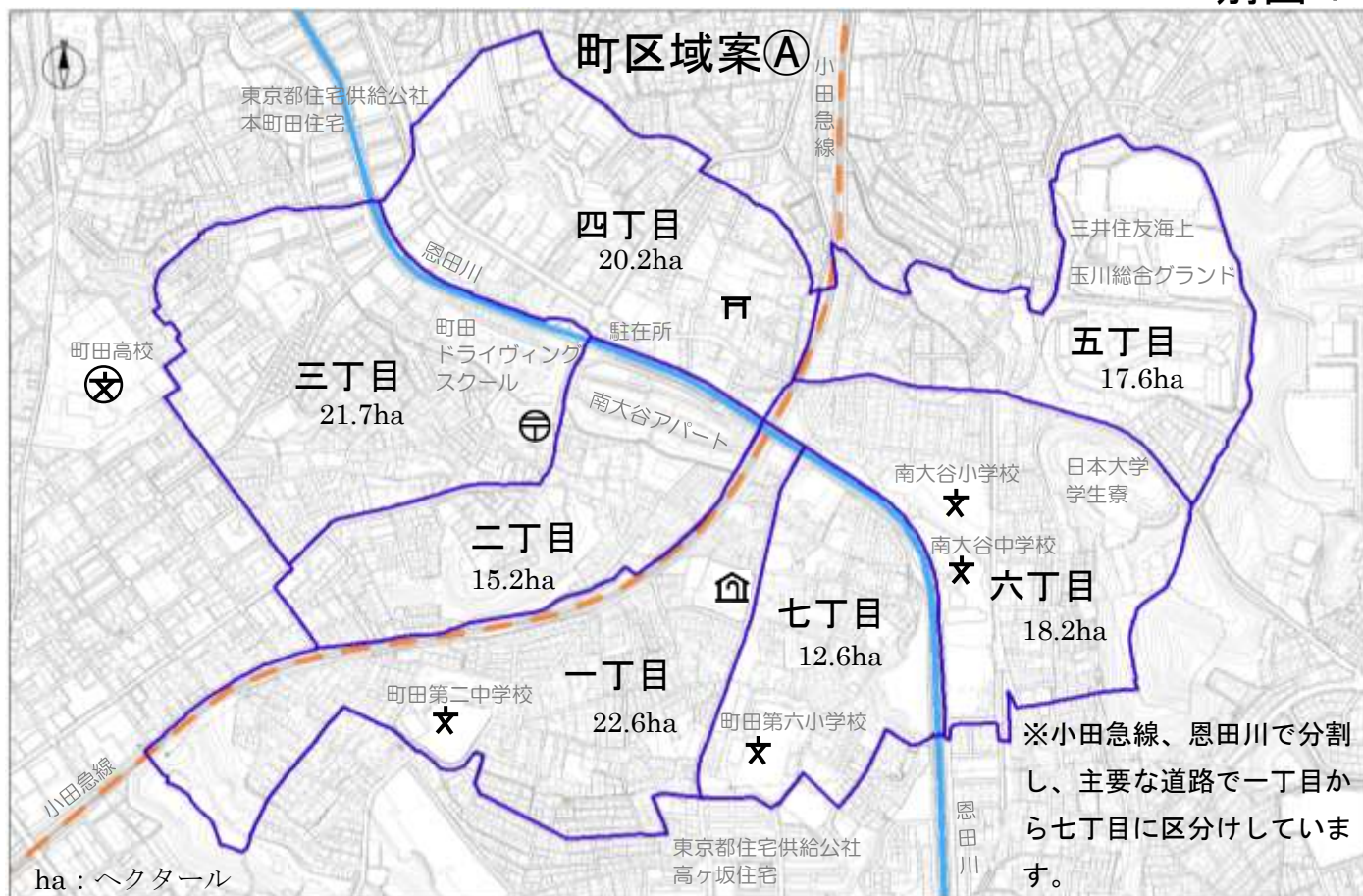
◆出席会員数： 15人

◆議案： 町区域案について(P.2、P.3の別図1, 2, 3参照)

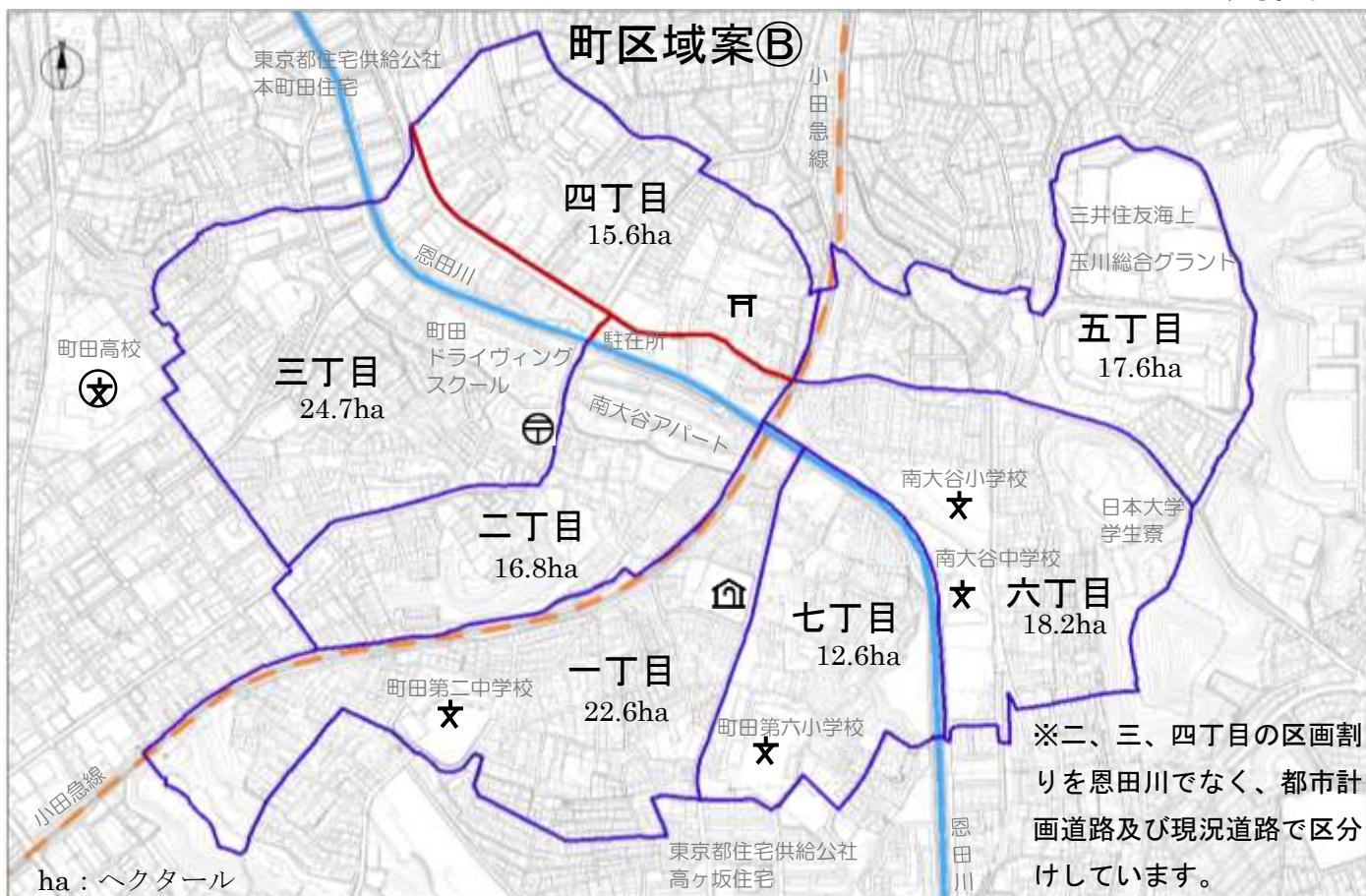
◆会員からの意見(要約)

- ・町区域の考え方として川、線路を基本とした方が分かりやすい。
- ・地図だけで見ると町区域案①の恩田川でわけるのが一番分かりやすい。
- ・基本②案十一丁目、七丁目の分けは③案が良い。
- ・③案が一番住民の生活圏から分かりやすい。
- ・①案と②案を比較すると、他所の人に説明するとき「四丁目は、川まで」という方が分かりやすい。従って①案。次に、一区画は、なるべく、同じ大きさにそろえるとすれば、③案。
- ・三丁目、四丁目は別にして(ヘクタール大) 一丁目～七丁目までは、面積に大きな相違がないので、③案がよい。
- ・人と人とのつながりや交流を考えたとき、道路ではなく恩田川で分けした①案 または③案が良い。
- ・面積基準に合致する③案が一番良いと選択したが、①案の方が③案より人と人とのつながりや交流で都合が良いのであれば、①案を支持する。

別図 1



別図 2





※東玉川学園三・四丁目についてはすでに町区域が分かれているため別図1、2、3については記載していません。

第4回 町田市町区域の新設に関する市民懇談会を開催しました。

◆開催日時：2022年4月14日(木)午後6時から午後7時30分

◆開催：町田市役所3階第一委員会室

◆出席会員数：13人

◆議案

①実施予定区域及び町の境界の検討

P.4の別図4D④F⑤Gについて町区域の境について検討を行いました。

②町区域案(町割り案)の検討

P.2、P.3の別図1、2、3について第3回(書面開催)の意見を踏まえて検討を行いました。

◆検討内容(要約)

①実施予定区域及び町の境界の検討

結果：④は南大谷に編入することについて、賛成意見あり。

⑤は今回住所整理を行わず、本町田の住所整理時に本町田へ編入することについて、賛成意見あり。

⑥(会員提案による)は玉川学園八丁目に編入することについて、賛成意見あり。

質問1：④には住民が何世帯ほどいるのか。

回答1：約20世帯が居住している。

質問2：編入検討区域に住む住民への説明は、誰がどのように行うのか。

回答2：市が住所整理事業ニュースなどを通して行う。

②町区域案の検討

結果:P.2「別図1」町区域案④を採用する。

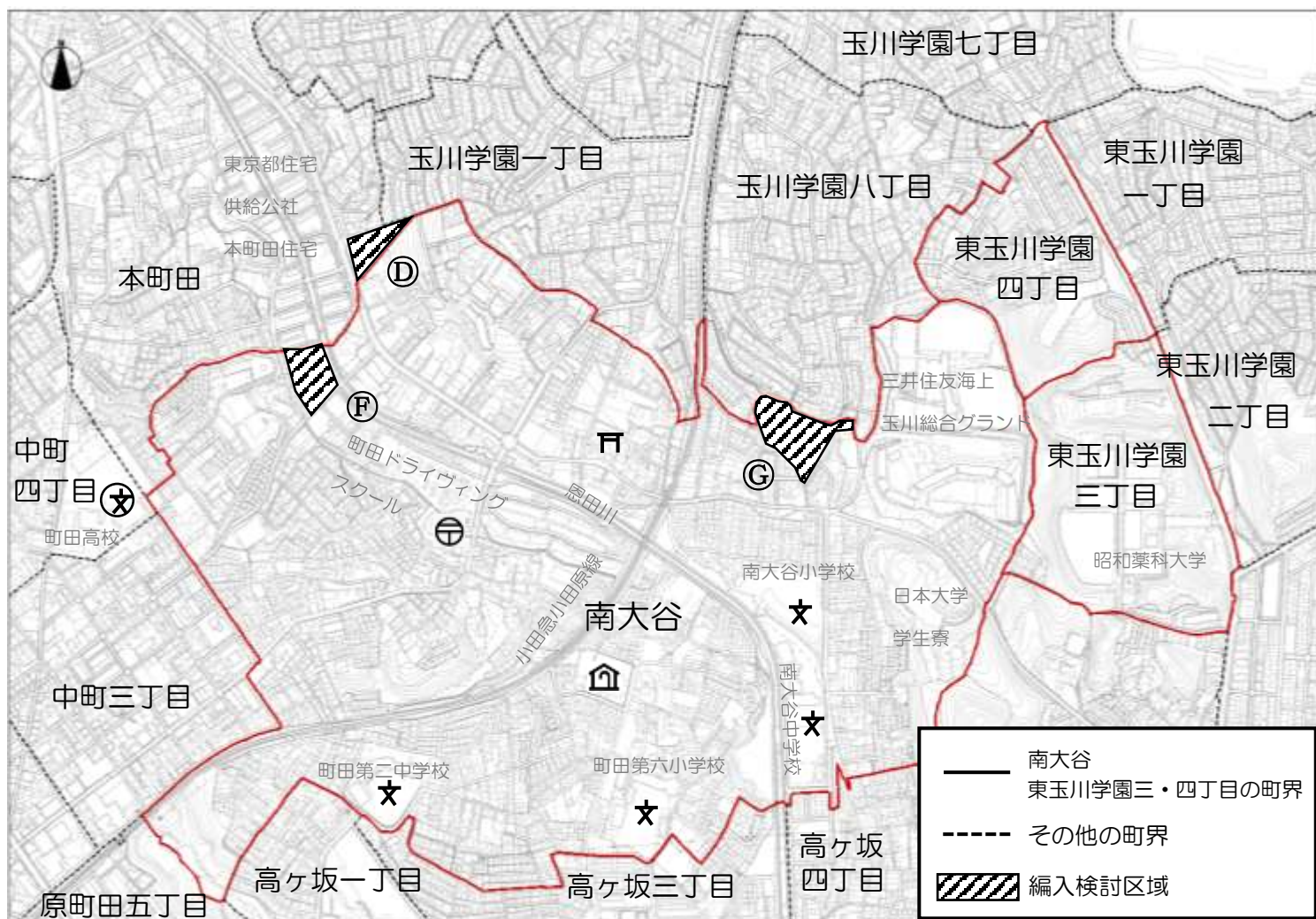
質問1:過去に15ヘクタールを満たしていない町区域の整理を行った実績はあるか。

回答1:過去10年に住所整理を実施した3地区では、わかりやすい町区域にするため、15ヘクタールを満たしていないが、町区域の整理を実施している事例がある。

質問2:町丁の面積によって、住民が受けられる公共サービスに違いは生じるのか。

回答2:町丁の面積によって公共サービスが変わることはない。

別図4



■次回(第5回)市民懇談会

2022年6月16日(木)午後6時から午後7時30分 場所:町田市役所2階会議室2-1



<住所整理事業担当>

〒194-8520 町田市森野二丁目2番22号 8階804窓口

町田市役所 都市づくり部 土地利用調整課 土地利用係

電話:042-724-4254(直通) Fax:050-3161-6271